

令和4年度市民協働セミナーにおけるワークショップにおいて出された意見

●セミナー概要

テ ー マ：アフターコロナを見据えた町内会活動・市民活動

対 象：町内会、市民活動団体

日 時：令和5年3月21日（火） 14：00～15：50

参加者数：57名（町内会26名、市民活動団体等31名）

○ワークショップについて

町内会、市民活動団体等をそれぞれ4グループに分け、計8グループとし、各々のグループにおいて「平時とコロナ禍の違い」、「活動における課題」、「必要となる支援」についてワークショップを実施。

【町内会、市民活動団体から出された意見】

「必要となる支援」について

意見	ガイドライン P.14 「(2) 推進に向けた取組」 該当箇所
<ul style="list-style-type: none"> ・団体ホームページやSNS作成支援 ・活動情報の提供、発信の支援 ・広報、チラシの配布やポスター掲示に対する支援 ・他団体の活動を知る機会が欲しい ・パソコン、スマートフォン教室の開催 ・気軽に集まれる機会の創出 ・活動したいけれどどのようにやれば良いか分からず活動できない 	①情報発信を充実し、学び・交流の機会と場をつくれます。
<ul style="list-style-type: none"> ・活動について相談できる所が必要 ・助成金 ・活動場所の提供 ・コロナ禍で対面、大人数での活動が困難に ・会館に代わる大きな場所が必要になってくる ・ボランティアへの手当 ・気軽に集まれる機会の創出（再掲） ・活動したいけれどどのようにやれば良いか分からず活動できない（再掲） 	②市民が活動しやすい環境をつくれます。
	③活躍する市民を増やします。
<ul style="list-style-type: none"> ・市において町内会加入促進方策の実施 	④多様な主体による協働を推進するための体制をつくれます。